

主 題：波紋の影響

聖書箇所：ダニエル書 6章1-11節、サムエル記第二 11章1-16節

ゲリー・クーン牧師：アメリカ、ミシガン州ハドソンヴィルにあるジョージタウンバイブル教会の牧師を21年間務めておられる。この教会は当初100人位の出席だったのが、現在、700人へと成長と遂げている。1979年、近藤牧師とともにバイブルカレッジを卒業された。夫人と1男2女のご家族で、息子さん娘さんは牧師をされている。今回、「みことばの真理を理解し、みことばを生きる」というテーマで昨日と今日午後、セミナーをもってくださり、本日の礼拝ではメッセージのご奉仕もしていただいている。浜寺聖書教会に来てくださったことを一同歓迎します。

私の妻ロイスと子どもたちからごあいさつ申し上げます。そして、私がアメリカを立ってからずっと祈ってくれている教会のみなも、皆さんによろしくと申しています。

今朝、私が皆さんにお話したいことは「選択」についてです。神にあって正しい利己的でない選択について、みことばから話したいと思います。そして、もし、私たちが正しい選択でなく、罪の選択をするなら、それがどのような悲劇をもたらすのかも話ししたいと思います。

私が10歳くらいのとき、湖畔にあった小さな家が私の両親の家でした。私が好きだったのは、湖畔を歩いて石を集めることでした。鏡のように静かな湖が好きでした。そこに石を投げ込んで波紋が広がる様子を見ていました。小さな石を投げ込むと小さな波紋ができます。大きな石を投げ込むと当然、大きな波紋が広がります。このことを後になって考えたとき、私たちの人生の選択と波紋がよく似ていることに気付かされます。私たちが石を投げ込むことによって、すなわち、私たちの選択によって波紋が広がるように、周りの人たちに影響を及ぼすのです。

私たちが為す選択には当然しなければならない強制的な選択もあるでしょう。でも、ほとんどの選択は私たち自身が考えた上で自らが選択するものです。10年前に、私は進行の早い悪性のガンだと宣告を受けました。そこには、私と私の家族の選択が生じました。今から、私たちはダニエル書からダニエルの選択を見ますが、ダニエルの為した選択は利己的でない選択でした。私が診断を受けた時、主治医は私を別の部屋へ連れて行き、いろいろな選択肢があることを告げました。一つは手術、一つは抗がん剤による治療、そして、もう一つは放射線による治療でした。私はこの三つの方法を聞いて、どれも好きではありませんでした。ですから、私の選択はもう何もしないでおこうと、そのように考えたのです。医師が私と妻に告げたことは「もし、何もしないならあなたの余命は6ヶ月です」でした。

私の選択は私にとって何が最善かに基づくものでした。妻は私の手を取って、私の顔を彼女の方に向けて「あなたの為す選択は私に影響を及ぼすということを忘れてほしくない」と告げました。私のからだは私自身のものでなくて、彼女のものであるということは今一度思い起こさせてくれました。私の為そうとしている選択は非利己的な選択ではなくて、利己的な選択だということをお知らせしてくれました。私が為そうとしている選択はあなた自身の人格と全く異なるものだ、そのようにも彼女は告げました。男性はこのことを認めたくないのですが、間違いなく、彼女が言っていることは正しかったのです。私は手術という選択をした後、今、私はこの手に二人の孫を抱えています。そして、それ以降、私は少なくとも1000回以上のメッセージをする機会が与えられています。二番目の娘の結婚式でバージンロードをいっしょに歩くという特権もいただきました。だから、私の妻が言ったことは正しかったのです。

今から、二人の人物の選択を見ていきます。一人はダニエル、もう一人はダビデです。

★ 二人の人物の選択を見る

1. ダニエル ダニエル書6：1-11

ダニエル、この人物こそ、非利己的な選択こそが正しいということを信じ実践した人です。ダニエル書の6章1-11節を読みましょう。

「1 ダリヨスは、全国に任地を持つ百二十人の太守を任命して国を治めさせるのがよいと思った。：2 彼はまた、彼らの上に三人の大臣を置いたが、ダニエルは、そのうちのひとりであった。太守たちはこの三人に報告を出すことにして、王が損害を受けないようにした。：3 ときに、ダニエルは、他の大臣や太守よりも、きわだってすぐれていた。彼のうちにすぐれた霊が宿っていたからである。そこで王は、彼を任命して全国を治めさせようと思った。：4 大臣や太守たちは、国政についてダニエルを訴える口実を見つけようと努めたが、何の口実も欠点も見つけることができなかった。彼は忠実で、彼には何の怠慢も欠点も見つけられなかったからである。：5 そこでこの

人たちは言った。「私たちは、彼の神の律法について口実を見つけるのでなければ、このダニエルを訴えるどんな口実も見つけれない。」：6 それで、この大臣と太守たちは申し合わせて王のもとに来てこう言った。「ダリヨス王。永遠に生きられますように。：7 国中の大臣、長官、太守、顧問、総督はみな、王が一つの法令を制定し、禁令として実施してくださることに同意しました。すなわち今から三十日間、王よ、あなた以外に、いかなる神にも人にも、祈願をする者はだれでも、獅子の穴に投げ込まれると。：8 王よ。今、その禁令を制定し、変更されることのないようにその文書に署名し、取り消しのできないメディアとペルシヤの法律のようにしてください。」：9 そこで、ダリヨス王はその禁令の文書に署名した。：10 ダニエルは、その文書の署名がされたことを知って自分の家に帰った。——彼の屋上の部屋の窓はエルサレムに向かってあいていた。——彼は、いつものように、日に三度、ひざまずき、彼の神の前に祈り、感謝していた。：11 すると、この者たちは申し合わせてやって来て、ダニエルが神に祈願し、哀願しているのを見た。」

ですから、私たちは今朝、どのようにすれば非利己的な選択ができるのかを学びたいと思います。まず、私たちが考えられることは、このような非利己的な選択は、結果に基づいて為す選択ではなくて、何が正しいかに基づいて為す選択だということです。10節を見ると「その文書の署名がされたことを知って」と記されています。彼が分かったことは、もし、私が神に従うならそこには死が待っているであろうということです。みことばにあるように、ダニエルは人々が何も訴えることができないような非常に正しい人物でした。ですから、ダニエルは自分の感情や思いに基づいて選択したのではなく、神の前に何が正しいかに基づいて選択したのです。

事実に基づいてではなく、感情や気分に基づいて選択するということが私たちの国では起こっています。ですから、私たちが正しい選択をするなら、私たちはイエスとの関係において、築かれて来た人格に基づいて選択を為すことが必要です。ダニエルが継続して主に祈り続けるという選択をしたときに、その後どのようなことが彼の身に起こるのか？彼は分かっています。彼は自分の部屋に戻って窓を閉めてそこで秘密に、だれにも分からないように祈るという選択をしませんでした。彼の人格は、どんなことがあろうとも神の前に忠実に歩み続けるというものでした。

私たちの選択は私たちの近隣の人たちに影響を及ぼすものです。私の妻が私に思い起こさせてくれたことは、私はまだ、多くの人たちにとって必要だということです。私の人生は私が選択できるものではなく、神の選択肢の中にあるということを思い起こさせてくれました。私たちの選択は私たちの愛する者に間違いなく影響を及ぼすものです。私たちクリスチャンがする選択は自分だけで終わるものではありません。私たちの選択は必ず、私たちの近隣の者たちに影響を及ぼすからです。

ダニエルの選択は彼とともにこの王国で働いている者たちに影響を及ぼしました。彼らは間違いなくダニエルは殺されると思いました。しかし、ダニエルの人格と、彼が正しいことを選択した結果、今度は彼を責めた人たちが逆に殺されました。皆さんが今週なされる選択はもしかするとこの教会に影響を及ぼす可能性があります。皆さんがなされる会話が本当にそれぞれを励ますことにもなるし、そうでない結果をもたらすこともあります。

私が日本に来ることを決心したときに、その過程において教会がいろいろな面で加わってくれました。私がここに来たことによって、今現在、この時点で教会に影響を及ぼしています。私の代わりに日曜日の朝、また、日曜日の夕拝にだれかが代わってメッセージをしなければなりません。私に代わってだれかが葬儀社に行って、愛する者を亡くした家族と話さなければなりません。そして、ある人たちは喜んで献金をして、私がここに来ることを可能にしてくれました。

私が決めた選択は皆さんにも影響を及ぼしました。なぜなら、皆さんは私のメッセージを聞いているからです。ですから、皆さんに今朝ぜひ覚えていただきたいことは、あなたの為す選択は周りの人たちに影響を及ぼすということです。同じダニエル書6：25-28を読みます。「：25 そのとき、ダリヨス王は、全土に住むすべての諸民、諸国、諸国語の者たちに次のように書き送った。「あなたがたに平安が豊かにあるように。：26 私は命令する。私の支配する国においてはどこでも、ダニエルの神の前に震え、おののけ。この方こそ生ける神。永遠に堅く立つ方。その国は滅びることなく、その主権はいつまでも続く。：27 この方は人を救って解放し、天においても、地においてもしるしと奇蹟を行い、獅子の力からダニエルを救い出された。」：28 このダニエルは、ダリヨスの治世とペルシヤ人クロスの治世に栄えた。」、ここを見てお分かりになるように、そういう非利己的な選択というのは、私たちが直接知らない人々にまで影響を及ぼすということです。それは今の世代だけでなく、後の世代の人たちにも同じことです。

神を恐れぬこの王が、ダニエルの神こそが人々の前に畏れられるべき方だと告げました。ダニエルはそのことを想像もしていませんでした。あの日、窓を開けてエルサレムに向かって祈るということがこのような結果をもたらすということを…。しかし、ダニエルのその選択によって、この国全体がこのような影響を受けたのです。

皆さんは今この場に座っておられます。それは皆さんの先輩たちのだれかが福音を語るという選択をされたからです。初代教会にあって、ヨハネやペテロやパウロたちが為した選択が今の私たちに影響を及ぼしているということです。今皆さんが為す選択がこの国に影響を及ぼすことがあるのです。皆さんのする選択はこの大阪に住む人々へ影響を及ぼすことになるのです。神の前に正しい選択を為すことによって、神は人々を神のもとに導いてくださるのです。

2. ダビデ IIサムエル11:1-6

もう一人の人物を見ます。それはダビデ王です。彼はダニエルのように正しい選択をしたのではなく、誤った罪の選択をし、その結果、大変な痛みをもたらすことになっています。IIサムエル11章を開いてください。1-5節を読みます。「1 年が改まり、王たちが出陣するころ、ダビデは、ヨアブと自分の家来たちとイスラエルの全軍とを戦いに出した。彼らはアモン人を滅ぼし、ラバを包囲した。しかしダビデはエルサレムにとどまっていた。:2 ある夕暮れ時、ダビデは床から起き上がり、王宮の屋上を歩いていると、ひとりの女が、からだを洗っているのが屋上から見えた。その女は非常に美しかった。:3 ダビデは人をやって、その女について調べたところ、「あれはヘテ人ウリヤの妻で、エリアムの娘バテ・シェバではありませんか」との報告を受けた。:4 ダビデは使いの者をやって、その女を召し入れた。女が彼のところに来たので、彼はその女と寝た。——その女は月のものの汚れをきよめていた——それから女は自分の家へ帰った。:5 女はみごもったので、ダビデに人をやって、告げて言った。「私はみごもりました。」。

今、私たちが見たいのは、このような罪の選択がどういう結果をもたらすのかということです。悲しいことに、私自身も為すのです。正しくない罪の選択というのは、自分自身の快適さや願いを強調するものです。ダビデの選択をよく見ると、1節にあります。彼は戦場に赴いて戦いを為すことよりも、エルサレムに留まってその快適さを選択しました。王の責任としては、彼は民とともに戦場にいるはずですが、もしかすると、彼は非常に疲れを覚えていたのか、あるいは、怠慢だったのかもかもしれません。もしかすると、彼は霊的に悩みを抱えていて彼の選択が誤っていたのかもかもしれません。

◎ 警戒すべき誤った選択がもたらすもの

1. 個人的快樂さを求める

彼が選択をしたときに、その選択の基準となったのは自分自身の快適さであって、それが誤った選択へと導いていったことに、皆さんはお気づきになるでしょう。ダビデは孤独な人ではありませんでした。彼には100人もの妻やそばめたちがいたのです。そして、彼は王宮の屋上を歩いて、もう一人の女性を欲しいと願うのです。ダビデがこのことを考えていた時、この誤った選択が彼にどのような悲しい結果、痛みをもたらすかということなど考えていませんでした。その罪の選択はその瞬間にしか焦点を当てません。私の義理の息子は明日、私の教会の夕拝でメッセージをしてくれることになっています。彼はよく私に言いますし、そのことは事実だと思いますが、罪というのは人を愚かにする。そして、物事を論理的に考えられないようにしてしまうと。

2. 公然の神に対する反抗

もし、皆さんがこの一週間に、自分の快適さや自分の願いに基づいて選択をするなら、恐らく、それは誤った選択になるでしょう。また、この誤った罪の選択というのは、反抗であり、真理に対して心を頑なにした結果であるとも言えます。私たちの問題は、やっていることが間違っていると思っても悔い改めようとしないうことです。ご覧になったように、ダビデがしたことは、やっていることが間違っていると分かっているながら、彼は継続して罪の中を歩み続けました。

聖書大学で私が私の妻に会う前、私はある女性と5年間婚約をしていました。私は彼女との間に結婚の日を決めていたのですが、私たちは二人とも互いにその結婚の日を破ったのです。私は彼女を余りにも愛していたので、彼女は私にとって偶像になりました。ですから、そのような選択をした後、私が為した選択はすべて罪深いものでした。それが反抗がもたらすものであり、罪とは反抗です。小さな反抗が心の中で成長し、そして、私たちは頑なな心を持つようになっていくのです。必ず、私たちの小さな罪はその次の罪へと導いていきます。

3. より多くの間違った選択をもたらす

今、私たちが読んだ聖書の箇所を思い出してください。ダビデは最初に姦淫の罪を犯しました。そして、その後の計画を見たときに、明らかに、それは惑わす、偽りの計画でした。彼はバテ・シェバの夫ウリヤを戦場から呼び戻すのです。彼は、夫を呼び戻して夫が妻と寝るなら、自分が犯した罪をごまかすことができると考えたのです。しかし、ウリヤは真実な人間でした。彼は「仲間たちが戦場で戦っているのにどうして私だけが家に帰れるか」と言います。ダビデはそれでは彼を酒に酔わせて、戦場に送り返せばいいと考えました。そして、軍団長であったヨアブを用いてウリヤを殺すようにと指示をするのです。

もし、私たちが悪い選択をする最中にあるなら、私たちはどうしてもそれを止めることができません。神のみこころに適った人物であったダビデ、でも、この罪の中にあつたときに彼は正しい選択をすることができなかつたのです。11：6-16「：6 ダビデはヨアブのところの人に人を持って、「ヘテ人ウリヤを私のところに送れ」と言わせた。それでヨアブはウリヤをダビデのところへ送った。：7 ウリヤが彼のところへ入って来ると、ダビデは、ヨアブは無事であるか、兵士たちも変わりないか、戦いもうまくいっているか、と尋ねた。：8 それからダビデはウリヤに言った。「家に帰って、あなたの足を洗いなさい。」ウリヤが王宮から出て行くと、王からの贈り物が彼のあとに続いた。：9 しかしウリヤは、王宮の門のあたりで、自分の主君の家来たちみなといっしょに眠り、自分の家には帰らなかつた。：10 ダビデは、ウリヤが自分の家には帰らなかつた、という知らせを聞いて、ウリヤに言った。「あなたは遠征して来たのではないか。なぜ、自分の家に帰らなかつたのか。」：11 ウリヤはダビデに言った。「神の箱も、イスラエルも、ユダも仮庵に住み、私の主人ヨアブも、私の主人の家来たちも戦場で野営しています。それなのに、私だけが家に帰り、飲み食いして、妻と寝ることができましようか。あなたの前に、あなたのたましいの前に誓います。私は決してそのようなことをいたしません。」：12 ダビデはウリヤに言った。「では、きょうもここにとどまるがよい。あすになったらあなたを送り出そう。」それでウリヤはその日と翌日エルサレムにとどまることになった。：13 ダビデは彼を招いて、自分の前で食べたり飲んだりさせ、彼を酔わせた。夕方、ウリヤは出て行って、自分の主君の家来たちといっしょに自分の寝床で寝た。そして自分の家には行かなかつた。：14 朝になって、ダビデはヨアブに手紙を書き、ウリヤに持たせた。：15 その手紙にはこう書かれてあつた。「ウリヤを激戦の真っ正面に出し、彼を残してあなたがたは退き、彼が打たれて死ぬようにせよ。」：16 ヨアブは町を見張っていたので、その町の力ある者たちがいると知っていた場所に、ウリヤを配置した。」

誤つた罪の選択は次々と波及していきます。

4. 近隣の者たちに、後の世代に荒廃をもたらす

もう一つ皆さんにお伝えしておきたいことは、罪とは間違いなく、皆さんの周りの者たちだけでなく、これからの世代にも大変な誤つた災いをもたらすということです。罪は非常に重いもので、そこには値札がつくほどです。ダビデ自身が行なつたその罪の選択にどんな値札がついているのか見てみましょう。まず、人が殺されました。バテ・シェバとの罪の中に生まれた子どもはいのちを落としました。預言者ナタンがダビデに何と言つたのか？Ⅱサムエル12：11、12をご覧ください。「：11 【主】はこう仰せられる。『聞け。わたしはあなたの家の中から、あなたの上にわざわいを引き起こす。あなたの妻たちをあなたの目の前で取り上げ、あなたの友に与えよう。その人は、白昼公然と、あなたの妻たちと寝るようになる。：12 あなたは隠れて、それをしたが、わたしはイスラエル全部の前で、太陽の前で、このことを行おう。』」、ナタンがダビデに伝えたことは、この日からあなたの誤つた選択に対しての大変な痛みがもたらされるということです。

彼の息子であつたアブシャロムは父親に逆らうという選択をします。ダビデが王国を新たにするときアブシャロムと彼に従つた者たちはいのちを落としました。このアブシャロムにも人々の間にも大変な災いが起こつたのですが、なぜ、起こつたのか？それはダビデが誤つた選択をしたからです。

どうぞ、皆さんが選択をするときに覚えてください。あなたの選択はこれから起こる世代に影響を及ぼすということです。私の祈りは皆さんが教会にあって正しい選択をされることです。その選択は非利己的であり、キリストに基づいたものです。もし、そのような選択でなく、ダビデと同じような誤つた選択をしているなら、それを直ちに神の前に告白することです。

祈りましょう。『父なる神さま、私たちはあなたを愛します。私たちが為した利己的な誤つた選択をお赦しください。アメリカにあつても同じようにこの日本にあつても、そこには利己的な人々が大勢います。ゆえに、どうぞ、あなたの聖霊によって、また、みことばによって、私たちが賢い選択ができるように強めてください。神さま、私たちはあなたを愛します。そして、あなたがこの礼拝を喜んでくださったことを信じます。私たちの主イエス・キリストの名によって祈ります。アーメン。』